

ウトナイ湖通信



No.224

2023年1月号



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、当センターの活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。

当センターは、本年も設置目的である国指定ウトナイ湖鳥獣保護区の保全や、ここに暮らす野生動物と私たち人間が共生するために必要な活動、人為的な要因で収容された傷病鳥獣の救護活動を行なって参ります。

本号から紙面を
リニューアルしました

お気軽ガイドウォーク in ウトナイ湖

日時:1月8日(日)10:30~11:30

内容:レンジャーや当センターのボランティアが40分程、屋外でウトナイ湖の自然を案内するガイドウォークです。荒天時は館内ガイドウォークに変更します。

定員:先着10名程度

対象:小学生以下保護者同伴

事前申込:なし。直接当センターへ



ラムサール条約・世界湿地の日記念

冬のウトナイ湖を観察しよう♪

日時:2月4日(土)13:00~14:30

内容:毎年2月2日は世界湿地の日。これを記念した観察会です。雪、湿地、野鳥観察を楽しみましょう。

主催:環境省・苫小牧市 協力:日本野鳥の会

定員:申込先着15名程度

対象:小学生以下保護者同伴

事前申込:

1/8~2/3まで、電話で当センターへ



1月のイベント情報

市民ギャラリー 傷病鳥獣救護展

会期:11月29日(火)~2023年1月15日(日)

内容:この1年間で保護された傷病鳥の一部をパネルで紹介いたします。またこれに合わせて、クイズラリーも開催いたします。参加賞もあります♪ 対象:小学生以下保護者同伴



◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆

TEL.0144-58-2231

〒059-1365 苫小牧市植苗156-26 / 道の駅となり

開館時間:午前9時~午後5時 / 入館無料

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター 検索



ラムートくん

~ ウトナイ湖 ~

- ・国指定鳥獣保護区特別保護地区
- ・ラムサール条約湿地
- ・東アジア・オーストラリア地域
フライウェイ・パートナーシップ

当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をご紹介します。



ヒナコウモリ

原因：不明



体重
19g



11月16日 市内のある建物前で、動けずにいたところを発見され、保護センターに搬送される。初診では、明らかな外傷は認められなかったが、動きは鈍くじっとしていた。



保温をして数時間が経過したところ、動きも活発になり、室内を飛翔する行動を確認。

リリース

容体も安定していたため、同日中にリリースとした。

ヒナコウモリ (コウモリ目 ヒナコウモリ科)

日本の小型コウモリ類の中で中型のコウモリで、北海道、本州、四国、九州に分布しています。暗褐色の体毛に白っぽい長毛が混じって霜降り状に見えるのが特徴です。大木の多い地域では1年中集団で樹洞を屋間の隠れ家に行っていると言われています。

日没後はその隠れ家から飛び出し、飛翔している昆虫類を捕食します。

トピックス



一般公開していないバックヤードのツアー

通常一般の方には公開していない傷病鳥獣の救護施設をご案内する「バックヤードツアー」を11月26日に開催しました。11名の方が参加され、保護している野鳥の体重測定の様子や、大きなケージ内で飛行のリハビリをする様子などを当センターの獣医師がご紹介しました。また野生鳥獣の人為的な事故を未然に防ぐ必要性もお伝えしました。



ボランティアフォローアップ研修会

当センターでは登録ボランティアの皆さんに各種事業をサポートいただいています。12月3日の研修会では14名が、ウトナイ湖で見られるカモ類の識別練習をした後、片道50分かかり湖岸の観察小屋まで歩き、自然観察路の距離や所要時間を確認しながら、カモ類を観察しました。今後、調査やイベント時に活かしていただければと思います。



ボランティアコーナー



【私の一押し!】 奥山 博美

私の好きな鳥の一つに「ヨシガモ」がいます。カモの仲間では中くらいの大きさで、特に頭の形はナポレオンの帽子に似た形で、色も金属光沢をした緑色でとても綺麗です。また、腰あたりの羽は蓑をかけたような形をしておりとてもオシャレさんで可愛いです。でも、何と言ってもあの胸の模様です、縞々の鱗の様な模様が私は大好きです。皆様も是非出会うことが有ればよく観察してみてください。この時期のウトナイ湖では比較的他のカモ達も多く見られます、是非皆様もお気に入りのカモを探してみても如何ですか？



奥山博美点描画展より「ヨシガモ」

ウトナイ湖 お楽しみコーナー

【亜種シマエナガの毛糸の ポンポンを作ろう】

1月20日は大寒です。寒さから身を守るため野鳥は羽に空気を入れ膨らむためまん丸に見えます。まん丸のシマエナガを、毛糸をぐるぐる巻いて作ってみませんか？動画で作り方をご覧ください。

シマエナガのポンポンづくり動画はこちらから



facebook



instagram



Twitter



シマエナガのポンポン

公式 SNS には、ほかにもたくさん情報を載せています！



Instagram



facebook



Twitter



レンジャーのおすすめ自然情報



【ハシブトガラ】
全長約12cm
1年中見られる留鳥。
ベレー帽が特徴。
「ジー、ジー」と鳴く。



【キバシリ】
全長約14cm
1年中見られる留鳥。
幹を下から上へ登る。



【ゴジュウカラ】
全長13cm
1年中見られる留鳥。
幹を下から上に登ることも、
逆さで下りることもできる。



【エナガ(亜種シマエナガ)】
全長14cm
1年中見られる留鳥。
「ジュリッ、ジュリリ」と鳴く。

この時期、林ではハシブトガラ、キバシリ、ゴジュウカラなどが「混群」となって一緒に行動していることが多いです。混群を観察していると、たまに亜種シマエナガも見られることがあります。

湖は結氷しますが、気温が上がると、川の流れ込みの部分(西側は勇払川、東側は美々川)に水面が出るため、ヨシガモやマガモ、オオハクチョウ(一部越冬する個体)等が見られることがあります。



ウトナイ湖で自然観察を楽しもう♪

最新自然情報や、自然観察路マップはこちらか



Instagram



facebook



Twitter

自然観察路ガイドマップ【冬】

